

概要	水質検査の結果、安全な給水が確保されている。引き続き、安定的に安全な給水に努めていく。また、未実施であった貯水槽管理マニュアルを作成した。令和5年度からはマニュアルを配布し、管理強化に取り組む考えである。 施設の強靱化を図るため、基幹管路1,915m、老朽管3,173mの更新工事を計画的に実施した。また、施設の耐震化を図るため、相賀配水池の耐震診断を実施した。 さらに、令和4年2月定例会において可決された令和5年4月からの料金改定について、料金改定リーフレットを広報紙に併せて配布するとともに、広報紙に料金改定に関する特集記事を掲載し、周知に努めた。今後も安定的に水道使用料を確保することで、引き続き健全な経営に努めたい。
----	--

本ビジョンの施策		具体的な方策	R4取組状況
安全 安全な給水の確保			
(1)	水質管理の拡充	①水質検査計画に基づいた水質検査の継続 ②計器類(濁度計・残塩計)の整備	①水質検査計画に基づき実施、結果公表 ②家山地区・身成地区の残塩計の整備検討
(2)	水安全計画の策定	①水安全計画の策定と運用	①水安全計画策定
(3)	貯水槽管理の強化	①貯水槽管理に関する情報提供の強化 ②貯水槽管理マニュアルの作成・配布	①貯水槽管理マニュアル作成、令和5年度から配布予定
(4)	給水装置管理の適正化	①指定給水装置工事事業者に向けた指導内容の検討	①令和2年度策定の給水装置設置工事指針(内規)により運用
(5)	鉛製給水管解消への取り組みの強化	①鉛製給水管布設状況の調査 ②鉛製給水管解消に向けた対策の検討 ③鉛製給水管に関する情報提供の強化	①検満交換時等調査 ②全体数の把握後、検討 ③指定工事店への周知を実施
強靱 より安定した施設の構築・災害対策の推進			
(1)	老朽施設・老朽管路の計画的な更新	①老朽施設の更新 ②老朽管路の更新	①相賀配水池の耐震診断を実施 ②基幹管路1,915m更新、老朽管路3,173m更新
(2)	施設・管路の耐震化	①配水池及び地下水源施設の耐震化 ②管路の耐震化	
(3)	応急給水・応急復旧体制の強化	①BCPの策定とBCPに基づいた職員訓練の実施 ②資機材の確保 ③利用者参加型応急給水訓練の実施 ④災害用飲料水の確保に向けた広報 ⑤周辺事業者との連携の強化	①机上及び実地による職員訓練実施 ②非常用給水袋購入 ③、④総合防災訓練実施 ⑤近隣水道事業者と情報交換
(4)	渇水対策の強化	①渇水対策マニュアルの運用と見直し ②地下水源の定期的な維持管理	①危機管理マニュアルと統合 ②井戸の浚渫工事実施
(5)	停電対策の強化	①自家発電設備燃料の確保 ②可搬式自家発電設備の配置検討	①燃料確保100%維持 ②未実施
持続 施設の効率的な整備・運用・経営の健全化			
(1)	水需要に合わせた施設のダウンサイジング	①今後の水需要に合わせた施設能力の検討	①基本計画に基づいた口径サイズダウンによる布設替工事を実施
(2)	施設管理体制の効率化	①施設台帳システムによる管理の実施	①令和3年度施設台帳作成
(3)	漏水対策の強化	①漏水調査の実施 ②老朽管の更新	①漏水調査を31回実施、7箇所の漏水修繕を完了
(4)	事業の統合に向けた取り組み	①簡易水道の上水道への事業統合に向けた整備	①令和元年度経営統合及び認可完了
(5)	近隣水道事業者との広域連携に向けた取り組み	①広域連携に向けた協議への参加 ②周辺事業者との将来的な統合に向けた検討	①県主催の広域検討会、近隣市との意見交換会を実施 ②大井川圏域の意見交換会に参加
(6)	アセットマネジメント及び経営戦略を踏まえた財源の確保	①アセットマネジメント及び経営戦略の運用と見直し ②適正な水道料金の検討	①令和3年度決算及び事業計画に基づいた予算の見直し ②令和5年4月からの料金改定の周知を実施
(7)	業務の効率化	①業務委託内容の見直し ②業務のマニュアル化	①令和2年度から継続 ②業務ごとマニュアル整備中
(8)	技術力の確保と継承	①OJTの実施 ②外部研修への参加 ③外部委託を活用した技術力の確保 ④大井上水道企業団との人事交流の検討	①新人向けOJT実施 ②県及び日本水道協会等の研修等に参加 ③包括業務委託における外部モニタリング支援業務等、コンサルの活用 ④未実施
(9)	広報・広聴の充実	①「広報しまだ」や水道独自の広報紙による情報の発信 ②浄水場見学や浄水講座の実施 ③広聴活動の実施	①料金改定リーフレットを広報紙に併せて配布、広報紙に料金改定に関する特集記事を掲載 ②小学校1校の浄水場見学を受入れ ③未実施
(10)	環境に配慮した設備選定及び事業の実施	①エコアクション21の実施 ②浄水発生土・建設発生土の有効利用 ③高効率機器の導入	①エコアクション21実施 ②浄水発生土有効利用率100% ③未実施

1-(1) 水質管理の拡充 P35

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	水質検査計画に基づいた水質検査の継続									
	計器類(濁度計・残塩計)の整									
	粟原・石風呂									
数値目標	指標の名称					単位	現況	目標値		
							2015	2022	2027	
	・水質基準不適合率 =(水質基準不適合回数÷全検査回数)×100					(%)	0	0	0	
	・簡易水道における水質監視体制の整備数 =簡易水道における水質の24時間監視実施施設数					(箇所)	11	14	14	

実施内容
水質検査計画は毎年度ごと結果に基づき見直し更新
水質検査計画に基づき検査実施、結果公表
粟原と石風呂地区の濁度計等の整備については、令和3年度に整備を完了した。また、残塩計が設置されていない家山と身成地区については、令和6年度以降に実施する予定。

実施内容
水質基準項目については不適合回数0回
令和2年度に小川と中平地区が施設統合された。令和3年度に粟原と石風呂地区の整備が完了し、水質監視体制の整備数は12カ所となり、残りの家山と身成地区を令和6年度以降に整備する予定である。

1-(2) 水安全計画の策定 P35

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	水安全計画の策定と運用									
	地下水源編 の作成	浄水場編	その他簡易水道ごとに順次策定、見							

実施内容
R4策定済

1-(3) 貯水槽管理の強化 P37

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	貯水槽管理に関する情報提供の強化									
	貯水槽管理マニュアルの作成・配布									

実施内容
島田市ホームページに掲載
R5.2に作成し、R5.4から配布予定

1-(4) 給水装置管理の適正化 P38

年次 計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	指定給水装置工事事業者に向けた指導内容の検討									

実施内容
令和2年度から新指針を策定し運用中

1-(5) 鉛製給水管解消への取組の強化 P39

年次 計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	鉛製給水管布設状況の調査									
	60.4%	68.3%	76.3%	84.2%	92.1%	100%				
							鉛製給水管解消に向けた対策の			
	鉛製給水管に関する情報提供の強化									
数値 目標	指標の名称						単位	現況	目標値	
								2015	2022	2027
	・鉛製給水管布設件数の調査率 ＝鉛製給水管布設調査を行った件数÷量水器の設置件数×100						(%)	44.6	92.1	100
	・鉛製給水管布設替え件数 ＝一年間で鉛製給水管の布設替えを行った件数						(件/年)	127	130	130

実施内容
量水器検定満期交換時に調査
実施時期未到達(全体数の把握後、検討)
指定工事店への周知を実施(研修会代替資料に掲載)

実施内容
未調査・不明分4%
改造・修繕数50件

2-(1) 老朽施設・老朽管路の計画的な更新

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	老朽施設の更新									
	天神原配水池									
	抜里配水池									
	小川・中平浄水場(統合新)									
	犬間配水池									
									その他電気・機械設備	
	老朽管路の更新									
	3,820m	2,749m	1,745m	1,605m	2,542m	3,512m	2,360m	2,360m	4,481m	3,934m
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値	
								2015	2022	2027
	・管路更新率 =(1年間に更新した管路の延長/管路延長)×100						(%)	0.7	100年で全て更新が完了するよう、1年あたり1%程度を目標に更新	

実施内容	
天神原配水池更新	
R1～R3で配水池を更新済	
抜里簡易水道は、令和元年度に配水池の整備を完了した。 小川中平簡易水道は令和元年度に浄水場の整備を実施し、令和2年度に中平の送配水管を整備した。	
平成30年度に予定通り配水池を整備した。	
R4年度 3,173m更新	
老朽管路を更新	
実施内容	
$(3.173/422) \times 100 = 0.751 \div 0.75\%$	
年度更新目標値を下回っている。	

2-(2) 施設・管路の耐震化 P41

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	配水池耐震診断									
	栗原 石風呂	鵜網	鍋島 二俣							
	地下水源施設の耐震化									
	南9号水源	阪本配水池	阪本配水池建屋	南7号水源	初倉4号水源	南1号水源				
	配水池の耐震化									
	神座 相賀									
	基幹管路の耐震化									
	簡易水道地区の管路の耐震化									
	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	25,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円
数値目標	島田市民病院周辺管路の布設									
			400m	200m						
	指標の名称						単位	現況	目標値	
								2015	2022	2027
数値目標	・配水池の耐震化率 =(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量)×100						(%)	93.6	98.4	98.6
	・管路の耐震管率(配水ポリエチレン管含まない) =(耐震管延長/管路延長)×100						(%)	9.7	12.5	17.6
	・重要給水施設配水管路の耐震管率(配水ポリエチレン管含む) =(重要給水施設配水管路のうち耐震適合管延長/重要給水施設管路延長)×100						(%)	24.6	26.7	41.5
	・基幹管路の耐震管率(配水ポリエチレン管含まない) =(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長)×100						(%)	12.9	13.3	14.1

実施内容	
R4年度実施なし	
R4年度実施工事なし	
神座配水池はR2、天神原配水池はR3に更新済 相賀配水池はR4に耐震診断を実施済	
基幹管路(送水管)1,915m更新	
給水人口の多い家山地区から計画的に配水管の耐震化を実施している。H28 169.5m H29 171.7m H30 175.7m R1 431.4m R2 162.7m R3 233.0m R4 190.3m	
R4年度完成	

実施内容	
主要な配水池は耐震性を確保している R4年度末 (19642/20402) × 100 = 96.3%	
R4年度末 (93,356.1/422,483.8) × 100 = 22.1 %	
R3年度末 (14,268/42,542) × 100 = 33.5%	
R4年度末 (10,595.6/34,401) × 100 = 30.8%	

2-(3) 応急給水・応急復旧対策の強化 P43

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画			BCPの策定とBCPに基づいた職員訓練の実施							
			BCP策定							
			BCPに基づいた職員訓練の実施							
			資機材の確保							
			利用者参加型応急給水訓練の実施							
			災害用飲料水の確保に向けた広報							
			周辺事業者との連携の強化							
数値目標	指標の名称					単位	現況	目標値		
							2015	2022	2027	
	・災害対策訓練実施回数 =1年間に災害対策訓練を実施した回数					(回/年)	1	1	1	

実施内容
R2水道BCP策定済
R4年度に机上・実地訓練
非常用給水袋の備蓄、R4年度購入(隔年で購入計画)
R4年度 静岡県総合防災訓練実施(給水車両による配水)
応急訓練実施時における参加町内への喚起(R4県総合防災訓練)
近隣水道事業者と情報交換(日水協県支部主催)

実施内容
R4.6 天神原配水区域仕切弁の位置を現地確認

2-(4) 渇水対策の強化 P45

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画			渇水対策マニュアルの運用と見直し							
			地下水源の定期的な維持管理							

実施内容
危機管理マニュアルに含めたため、R元年度末に廃止
令和3年度に井戸の浚渫工事の実施計画を策定
令和4年度から工事を実施

2-(5) 停電対策の強化 P46

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	実施内容		
	自家用発電設備燃料の確保										全15設備では、常時、燃料をタンク容量の100%に維持している。		
	可搬式自家用発電設備の配置検討										未実施		
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値		実施内容		
								2015	2022	2027	R5.3.31現在、全15設備中の6設備で、燃料備蓄日数は0.5日を達成している。		
	・燃料備蓄日数 =平均燃料貯蔵量÷一日燃料使用量						(日)	0.5	0.5	0.5			

3-(1) 水需要にあわせた施設のダウンサイジング P47

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	今後の水需要に合わせた施設能力の検討									
				見直し・検討				見直し・検討		

実施内容
上水道基本計画により口径のサイズダウンに基づき布設替工事を実施

3-(2) 施設の管理体制の効率化 P48

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	施設台帳システムによる管理の実施									
	施設台帳システムの構築	データ入力・管理・運用								

実施内容
R3年度施設台帳作成済

3-(3) 漏水対策の強化 P49

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	漏水調査の実施									
年次計画	老朽管の更新									
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値	
								2015	2022	2027
	・有効率 =(年間有効水量 / 年間配水量) × 100						(%)	89.4	89.8	90

実施内容
R4年度 職員調査を旧市内 計25回、川根支所地区で計6回実施
7箇所漏水修繕完了
R4年度 3,173m 老朽管路更新

実施内容
R4年度 77.9%

3-(4) 事業の統合に向けた取組 P50

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	簡易水道の上水道への事業統合に向けた整備									
	統合認可申請									
	簡易水道施設の更新事業									

実施内容
令和元年度末経営統合及び認可完了
施設整備を実施中

3-(5) 近隣事業体との広域連携に向けた取組 P51

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	広域化に向けた協議への参加									
	周辺事業体との将来的な統合に向けた検討									

実施内容
県主催の経営研究会への参加のほか、近隣二市との意見交換会を実施
大井川圏域の意見交換会に参加

3-(6) アセットマネジメント及び経営戦略を踏まえた財源の確保 P52

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	アセットマネジメント及び経営戦略の運用と見直し									
				見直し・検討				見直し・検討		
	適正な水道料金の検討									

実施内容
R3決算及び今後の事業計画に合わせ、予算再検討
R3給水条例の改正議決。R5からの改正に併せ周知に努める。

3-(7) 業務の効率化 P53

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
年次計画	業務委託内容の見直し									
	業務のマニュアル化									

実施内容
令和2年10月から浄水場・料金複合委託開始
業務ごとのマニュアルを整備中

3-(8) 技術力の確保と継承 P54

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	実施内容
	OJTの実施										新人職員向けのOJT実施
	外部研修への参加										県、日本水道協会主催の研修等に参加
	外部委託を活用した技術力の確保										令和2年10月からの浄水場・料金複合委託により確保
	大井上水道企業団との人事交流の検討										令和4年度は実施なし

3-(9) 広報・広聴の充実 P55

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	実施内容
	「広報しまだ」や水道独自の広報紙による情報の発信										料金改定リーフレットを令和4年7月の広報紙に併せて配布
											「広報しまだ」令和5年3月号に料金改定に関する特集記事を掲載
	浄水場見学や浄水講座の実施										令和4年度は、島田第五小学校4年生の見学に対応
	広聴活動の実施										計画見直し時に実施予定のため、令和4年度の実施はなし
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値		実施内容
								2015	2022	2027	
	・水道の広報紙の発行回数 ＝一年間に水道の広報紙を発行した回数						(回/年)	0	1	1	令和4年11月、12月検針時に各戸配付(1回)
	・アンケート実施回数 ＝水道に関するアンケートを実施した回数						(回)	0	計画見直し時に実施		なし

3-(10) 環境に配慮した設備設定及び事業の実施 P56

年次計画	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	実施内容				
	エコアクション21の実施										電気使用量削減を独自目標として島田市の方針に基づく活動を行った。				
	浄水発生土・建設発生土の有効利用										計475m3の浄水発生土について処理施設へ搬出				
	高効率機器の導入										令和4年度中には、高効率機器への更新を行わなかった。				
数値目標	指標の名称						単位	現況	目標値		実施内容				
								2015	2022	2027					
	・浄水発生土・建設発生土の有効利用率 =(有効利用土量 / 浄水発生土量+建設発生土量) × 100						(%)	100	100	100	有効利用率100%				